

平成26年東御市議会第2回定例会 市長招集あいさつ

(平成26年6月5日 午前9時開会)

□はじめに

野山の木々も色濃く装いを改め、新緑の映える大変清々しい季節を迎え、梅雨入り間近でぐずついた日と、季節を先取りしたかのような夏を思わせる暑い日とが交互に訪れながら、徐々に夏への序章を感じる頃となりました。

田植えの終わった水田には瑞々(みずみず)しい早苗が列をなして靡(なび)き、豊かな自然の中に溶け込む美しい郷土の風景を見るにつけ、心に安らぎと潤いを感じます。

自然の恵みに囲まれ、日々の生活を送ることのできるこの私たちの故郷を、未来を生きる子どもたちのために絶やすことなく継承していきたい、改めてそう強く願うところでございます。

本日ここに平成26年東御市議会第2回定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては、何かとご多用のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

□不祥事等に関するお詫び

ここで、既に報道等によりご承知のことと存じますが、消防団員による放火事件が発覚し、逮捕・起訴に至りましたことは、誠に遺憾であり断腸(だんちょう)の思いでございます。

ここに議員各位を始め、市民の皆様に改めて深くお詫びを申し上げます。

当事者に対する処分に関しましては、事実関係が明らかになり

次第、関係規範(きはん)に基づいて厳粛(げんしゆく)に行なわれる予定であります。

市民の皆様の信頼を取り戻すため、再び過ちを起こさないこととするため、消防団員には、服務に関わる根本基準・法令等の遵守(じゅんしゅ)を再確認しながら、団員としての倫理の更なる保持徹底を図り、自らを一層厳しく律することを求め、マナー・モラル・ルールの基本を忠実に実践し、再発防止の方策に取り組んでまいり所存でございます。

〇市政を取り巻く状況

さて、私が市政をお預かりして4月25日で丸6年が経過致しました。

この間、議員各位をはじめ、市民の皆様、また、関係機関及び諸団体の皆様方の温かいご指導とご助言をいただきながら、市政運営に携わることが出来ますことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

私は、会議に重きを置くとともに、積極的に対話をし、進んで現場に足を運び、一貫して現場重視で市民目線に立脚した姿勢で真正面から向き合ってきました。

開かれた市長室を標榜し、毎日が常に「ふれあい市長室」との思いから、時間の許す限り市の内外を問わず多くの皆さんとお会いし、お考えやご意見を拝聴する中で、様々な課題を抱えながらも行政が頼られ、求められていることからの多さに加え、如何なる場面においても説明責任を果たすことの大切さを改めて痛感しております。

市民感覚と時代の変化をしっかりと受け止め、市政運営の責任者として、引き続き市民の目線に立った市民に優しい行政を念頭

に置きつつ、更にスピード感を持って、芽を出した施策の根を太く深く伸ばすように、施政方針並びに本年度からスタートしました第2次東御市総合計画「とうみ夢・ビジョン2014」を基本に据え、発足10周年の節目を迎えた市政運営に邁進いたす所存でございます。

（社会・経済情勢への対応）

さて、安倍政権が発足して1年5か月余、政府がデフレ脱却のため、断続的に進めている経済政策に対して、景気回復に向けた期待感が高まっているところであります。

わが国の経済状況は、直近（5月23日）に発表された内閣府の月例経済報告の中で、「景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。」との基調判断が示されました。

また、景気の先行きについては「当面、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により弱さが残るものの、次第にその影響が薄れ、各種政策の効果が発現するなかで、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。」としております。

一方、地域における雇用情勢に関しましては、長野労働局が5月30日に発表した4月の県内の有効求人倍率のうち、上田管内については、前年同月比0.12ポイント増の0.81倍でした。全県平均が1.08倍となる中、管内の有効求人倍率については相変わらず県内での下位を推移しており、依然として厳しい雇用情勢の中、未だ景気回復を肌で実感できるまでに至っていないのが実情であります。

そうした地域経済の動向に加え、市の財政状況も、厳しさを増すことが予測されるころではありますが、行政には如何なる逆境にも的確に対応しながら、行政サービスを安定して提供しなけ

ればならない使命があります。

真に日本経済が持続的に元気を取り戻し、地方にも景気回復の実感が伝わり、そして当市の施策展開に期待の持てるものとなるものなのか、しっかりと見極めながら、情報の収集と適切な対応に努めてまいります。

□諸般の情勢

さて、ここで前回3月定例会以降の市内の主だった動きを振り返ってみますと・・・

（中央公民館リニューアルオープン）

昨年3月の本工事契約から約1年を掛けた中央公民館の増改築工事が終了し、3月16日に、リニューアルオープン式を開催致しました。

増改築工事は、建物全体の耐震補強・内装工事にあわせて、講義室、陶芸室及び市民貸し出し用倉庫を備えた増築棟を増設しました。また、教育委員会事務局のワンフロア化による機能の強化も図りました。3月19日の一般利用開始以来、連日生涯学習の場等として大勢の皆様にご利用いただいております。施設の整備が完了したことから、今後は、市民活動の拠点として魅力あるソフト面の強化も図ってまいりたいと考えております。

（除排雪作業等に感謝とお礼）

3月31日、2月の記録的大雪において、昼夜を問わない献身的な除排雪作業にご尽力いただき、市民生活の復旧に際し多大な貢献をいただいた東御市建設業協会さまに感謝状を贈呈し、深甚(しんじん)なる感謝の意を表しました。

なお、この度の豪雪に際しては、市からの情報提供のあり方など多くの課題を残したものの、区や隣組などを通じて市民が主体的に道路の除雪や独居者への支援が実践されたこと、防災訓練の経験から地域の結束力が生まれたこと、更には有事に際して自助・共助の精神が発揮され、早期の復旧に繋がったものと確信し、この場をお借りして改めて感謝とお礼を申し上げます。

今回の教訓を糧(かて)として、これからの災害シーズンに当たっては万全を期してまいります。

(和保育園竣工・田中保育園起工)

市立保育園改築基本計画に基づき保育園の統合と建て替えを進める中、地域産材のカラマツ等をふんだんに使用し、現在の保育園二ースに対応した和保育園舎が竣工、4月2日に開園となりました。また、4月28日には、市立保育園最後の施設整備として、田中保育園の起工式を執り行いました。

(ワタミの森)

昨年10月に、ワタミ株式会社傘下のNPO法人 リターン・トゥ・フォレストライフと東御市の間で「東御・ワタミの森に関する森林保全協定」を締結致しましたが、この4月6日には、奈良原市有林において、両者の共催により、「森と農業と食の祭典」東御・ワタミの森開会イベント記念式典が行われました。

企業の皆様のご協力をいただき、環境保全が図れることは、里山や森林の保全・活用を図っていく上で大変有効であると考えております。

今後も、引き続きご支援をいただきながら、都内の中高生が森林体験を行い、自然に親しんでいただくなど、企業・市民・行政のパートナーシップによる森林の活用と交流を通じ、新しいかたちでの森林づくりが図られればと考えております。

（ワイン振興）

平成20年11月、ワインによる地域振興を目的として認可を受けた「とうみ Sun ライズ ワイン・リキュール特区」、いわゆる「ワイン特区」は、昨年3月に長野県が策定した「信州ワインバレー構想」と結びつき、最近国内外から注目されている日本ワインの中にあって、高品質な本格ワイン「NAGANO WINE」としてブランド力を高めていこうとしています。

東御市は、千曲川ワインバレーの中にあってワイン用ブドウの栽培に最適な条件に恵まれ、3つのワイナリーのご努力にもより、高品質のワインが醸造できることを証明していただいております。

ワイン特区として東御市のワイン産業が産声を上げてから、多くの関係者のご尽力により、新しい産業として成長してまいりました。この歩みがより確かなものとなるよう、今後も原材料の生産者及び新規の醸造家の育成や栽培・醸造技術の向上と普及発展の取り組みを支援してまいります。

また、地元地権者の皆様方の合意をいただきながら、祢津御堂地区におけるワイン用ブドウの生産団地化を進め、6次産業として裾野の広いワイン産業の振興を図る中で、高品質なワインが醸造される地域特性を活かし、その気候風土と地味が「おいしい農産物を育む」というメッセージを発信し、市内産農作物のブランド力の向上や新規作物のブランド化にも繋げてまいりたいと考えております。

（NHK 大河ドラマに「真田丸」放映決定）

NHKの再来年(平成28年)の大河ドラマに、真田幸村(信繁)を主人公とした「真田丸」の放映が決定した、という吉報が舞い込んでまいりました。

今や幸村は戦国武将の中でも最上位の人気者として定着し、全国の真田氏に想いを寄せる多数の署名をはじめ、永年に亘る地道な運動が結実したものと、大変嬉しく思います。

上田市を中心として、真田氏に関係する近隣地域も物語の舞台となり、全国的に注目を浴びることになり、宣伝効果と相俟って相当数の観光客の入り込みが予想されます。

観光に関して、来年は、北陸新幹線の金沢延伸や善光寺のご開帳とビッグな話題が続きますが、次期第37回全国伝建協議会総会が、これも来年当市において開催されることが決定致しました。

先ごろ実行委員会を組織したところで、全国からの迎え入れに海野宿を挙げて万全を期してまいりたいと考えております。

これらを起爆剤として、今後の東御市観光に関しては、地の利を活用しつつ、他産業との有機的連携を踏まえて大事な産業としての位置づけを確固たるものにしてまいりたいと思います。

（海野宿「うんのわ」竣工）

その一端としての取組み・・・海野宿の歴史的建造物を整備改修し、広く公開活用することで、伝統的建造物保存への理解を図り、あわせて地域の活性化と観光振興に寄与することを目的として、平成24年度から工事を進めて参りました「海野宿滞在型交流施設」（愛称うんのわ）が、この3月に完成しました。

4月21日に喫茶部門（いっぴく）を仮オープンし、次いでレストラン（楽/らく）が6月1日に、更には7月に宿泊（海野宿・ふる里館）を順次オープンする予定であり、7月中の全館オープンを目指し、海野宿観光の拠点としての期待が持たれております。

（市発足10周年式典・記念講演会）

平成16年、小県郡東部町と北佐久郡北御牧村が合併して新たに誕生した東御市は、この4月1日に発足10周年の節目を迎え、

これを祝して4月20日に記念式典を開催致しました。

多数のご来賓をはじめ文化会館を埋め尽くした700名を越す出席者の皆様と一緒に、10年間の歩みを振り返るとともに、次なる10年に想いを馳せ、決意を新たにしたところでございます。

式典に続き、大田区在住の書家、金澤泰子さん・翔子さん親子を講師にお迎えし、書の実演と講演が行われました。

翔子さんには、市の更なる発展と夢の実現を期して、力強く「飛」「翔」の二文字を揮毫(きごう)戴きました。

(市町村対抗駅伝6位入賞)

4月29日に長野県市町村対抗駅伝が開催され、東御市チームは並み居る強豪に伍(ご)して総合6位に入賞しました。

昨年初めて8位入賞を果たし、この1年間個々のレベルアップに努め、区間1位を取る選手の活躍などもあり、チーム一丸となって輝かしい成績をおさめました。

秋の県縦断駅伝競走大会を経て、来年は3位以内を目指してさらなる精進(しょうじん)を願っております。

(まちづくり懇談会)

「開かれた市政を推進する」ため、5月7日から27日までの間、市内5地区において「まちづくり懇談会」を開催し、市政運営にあたる私の思いを述べさせていただきながら、それぞれに懇談をさせていただきました。

全地区合計で、約300名もの皆さまにご参加いただき、市政に対するご意見・ご要望を伺うとともに、本年度から新たな試みとして「各地区別テーマ」に沿った懇談会と致しました。

今回の懇談会を通じて寄せられた課題につきましては、速やかに対応させていただくことはもとより、今後も、市民参画によるまちづくりを推進してまいります。

（高地トレーニング）

湯の丸高原に高地トレーニング用プールを誘致する活動につきましては、この5月31日に第2回施設検討委員会が開催されました。

施設の概要が固まりつつある中で、今後は、施設の基本計画の策定作業を進めるのと並行して、国への建設要望を行っていくことを確認致しました。

また、誘致活動の推進に関しては、東御市観光協会やNPO法人東御市体育協会をはじめとする各種団体の皆さま方から、「高地トレーニング構想の推進に関する要望」をいただいておりますので、市民レベルの推進会議を6月末までに立ち上げていただき、夢の実現に向けて「オール東御」の体制で取り組んでまいりたい所存でございます。

（チャレンジデーの取組み）

毎年5月の最終水曜日に15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率を同規模の自治体と競い合うスポーツイベント「チャレンジデー」が行われ、市の標榜する「1市民1スポーツ運動」の実践と市民の健康水準を上げ、健康寿命を延ばすことを目的として、県下19市では初めて参加致しました。

関係団体を中心に実行委員会を組織し、チラシを全戸配布したほか、新たに「チャレンジとうみ15分体操」のDVDとCDを作成して、区・企業・事業所・保育園・小中学校等へ参加のお願いを致しました。

5月28日の当日は、地区公民館・第1体育館の市施設でのイベントの実施や田中駅・滋野駅でチラシを配布し、通勤通学者へのPR活動も行いました。

対戦相手となった茨城県行方(なめがた)市は今回5回目の参加

と経験も豊富で、最終参加率は46.1%、初参加の東御市は41.3%と予想以上の善戦となりましたが、結果的に勝利を譲る形になりました。

継続して参加することでイベントの知名度を高め、参加率の向上をはかってまいりたいと考えております。

（健康マイレージ事業開始）

チャレンジデーの精神を踏襲し、市民の皆様の健康づくりへの動機づけや運動習慣の定着を促(うなが)し、健康寿命を延ばし健康なまちづくりを目指して、この6月から新たに健康マイレージ事業を開始致しました。

（スーパー中学生の活躍）

小さな市から、全国へ・世界へと羽ばたこうとする中学生の活躍が、時期を同じくして伝わってまいりました。

東部中学校スキー部の唐沢航希（からさわ こうき）くんは、3月に北海道で行われたJOCジュニアオリンピックカップ回転・大回転部門に出場し、優秀な成績を収め、4月6日から13日までフランスで開催されたFISチルドレン大会に参加しました。4月から高校生になった唐沢君の今後一層の活躍が期待されます。

東部中学校3年生柔道部の唯野貫太（ただの かぶと）くんは、50kg級の選手として出場した昨年度の全中全国大会で16位に入ったことが評価され、4月13日に行われた全日本強化選手Dランク指定選手及び候補選手だけが出場できる全日本カデ柔道体重別選手権大会に出場し、50kg級で全国3位に入るなどめざましい活躍をしています。東御市から2020年の東京オリンピックの出場選手が出ることを願っております。

北御牧中学校3年生の青木至人（あおき ゆきひと）くんは、第

57回日本学生科学賞において、「骨は生きているⅦ」一日本鹿の成長の仕方一で環境大臣賞を受賞し、更に、JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2013において、人権運動家のマウラ・ユスフザイさんの運動に感銘を受け著した「どんな小さな一歩でも」が、最優秀賞である独立行政法人国際協力機構理事長賞を受賞しました。

その他にも、様々な分野での好成績や、微笑ましくも明るい話題が次から次へと報告されています。

いずれも市の誇りであり、これから後に続こうとする皆さんの目標であり、励みにもなります。

この三ヶ月ばかりの間の主な動向について申し上げましたが、「小さくともキラリと光る東御市」づくりに取り組むうえで欠くことのできない出来事は枚挙に遑(いとま)がありません。

冒頭に申し上げたお詫び事案を重ねて戒(いましめ)と致しますとともに、私自身、引き続き初心を忘れずに市政に携わってまいり所存でございますので、市民の皆様並びに議員各位におかれましては、尚一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

□本定例会の提案議案等

さて、本定例議会に報告・提案申し上げます案件は、報告事案4件、専決処分の承認事案7件、補正予算事案1件、条例の一部改正事案2件、東信地区交通災害共済組合に関連する事案4件、の併せて18件になります。

いずれも喫緊にして重要な案件でございますので、ご審議につきまして宜しくお願い申し上げます。

それでは、本定例会に提案致します報告並びに議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

（予算の繰越）

まず、報告第1号から報告第4号までの4件につきましては、一般会計並びに公営企業会計（水道・下水道・病院）において25年度に予算化されていた事業の26年度への繰越しを「地方自治法施行令」並びに「地方公営企業法」の規定に基づき、議会に報告するものであります。

事業名及び金額等の概要につきましては、既に前段の「諸般の報告」において担当の部長から説明を申し上げたとおりでございます。

（補正予算の専決処分の承認）

次に、議案第49号から議案第51号までの3件につきましては、法の定めにより3月31日付け、5月30日付けで行った専決処分について、それぞれ「地方自治法」の規定に基づき議会に報告をし、承認をお願いするものでございます。

そのうち「平成25年度一般会計補正予算（第7号）」につきましては、3月31日に専決処分を致しましたので、このご承認をお願いするものでございます。

その主なものは、地方交付税の増額補正約3億8,500万円、雪害対策補助金約1億5,200万円の減額、それに伴う基金繰入金の減額の補正などであります。

また、「平成25年度介護保険特別会計補正予算（第4号）」につきましては、介護保険事業費補助金等の増額に伴うものであり、3月31日に専決処分を致しましたので、このご承認をお願いするものであります。

「平成26年度地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計

補正予算（第1号）」につきましては、前年度歳入不足に係る繰上げ充用に伴うものであり、5月30日に専決処分を致しましたので、このご承認をお願いするものであります。

詳細につきましては、それぞれ担当の部長から説明を申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

（補正予算）

次に、議案第56号「平成26年度一般会計補正予算（第1号）」でございますが、歳入歳出にそれぞれ9億8,655万7,000円を追加して、総額を158億8,155万7,000円と致すものであります。

その主なものは、

- ・農業用施設の雪害対策補助金
- ・御堂地区関連事業委託料
- ・介護施設へのスプリンクラー設備設置補助金
- ・この夏銀座にオープンする信州首都圏総合活動拠点への出展補助金

など、市の重点事業を中心に、状況の変化に即応した施策を推進するための増額補正をお願いするものでありまして、県補助金、基金繰入金などを財源として充当するものでございます。

一般会計補正予算に係る詳細につきましては、担当の部長から細部にわたり提案の説明を申し上げますので、宜しく願い申し上げます。

（条例の一部改正の専決処分の承認）

続きまして、条例等の議案につきましてご説明申し上げます。

議案第52号から議案第55号までの4件につきましては、既存条例の一部を改正するもので、「地方税法の一部を改正する法律」の施行などに伴い、関係条例の所要の改正について、3月31

日に専決処分を致しましたので、「地方自治法」の規定に基づき議会に報告をし、ご承認をお願いするものでございます。

（条例の一部改正）

また、議案第57号と議案第58号につきましては、市税及び消防団員退職報奨金に関する既存条例の一部を改正するもの、2件となります。

詳細につきましては、担当の部長から説明を申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

（東信地区交通災害共済組合関連案件）

議案第59号から議案第62号までは、平成27年4月に、東信地区交通災害共済組合から「東北信市町村交通災害共済事務組合」へ移行するにあたり、関係市町村と必要な協議を行うため、「地方自治法」の規定に基づき、議会の議決を求めるものでございます。

詳細につきましては、組合を所管しております担当部長から提案の説明を申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

□むすびに

以上、本定例会に報告・提案致します議案につきまして、その概要を申し上げます。

十分にご審議をいただきますとともに、それぞれの案件につきましてのご承認・ご決定を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

（市政運営への決意）

今次、社会・経済情勢の先行きへの不安が強まる中、当面の間は、地方自治体の行財政運営にとって、厳しく険しい時期が続く

ことが想定されます。

一方において、地方分権改革が確実に進む中、地方自治体における自己決定、自己責任の領域は益々拡大し、基礎的自治体を運営するには非常に困難を来たしております。

しかし、このような時だからこそ、市の元気の源となる「多彩な市民力」と、協働のまちを創る意欲に燃えた「多様な職員力」を相補(そうほ)しながら、山積する難題に対し、勇猛果敢に立ち向かっていかなければなりません。

私は、先人の汗に報い、次の世代、子や孫たちに堂々と誇れる郷土・東御市をつくるため、先見と先取の気概を持って、市政運営に邁進してまいります。

その道標(みちしるべ)でもある「第2次東御市総合計画」に謳(うた)われた“人と自然が織りなす しあわせ交流都市 とうみ”を目指し、真に自立したまちづくり、安定した市政運営を進めるべく、リーダーシップを発揮しつつ、現下の情勢を見極めながら、最善の選択肢を求めて粉骨砕身、誠心誠意努力してまいることが改めてここにお誓い申し上げ、本定例会招集のごあいさつと致します。